

## 予算審査特別委員会会議録

- 1 開会日時 令和3年2月26日（金）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和3年2月26日（金）午前11時21分
- 3 会議場所 議会協議会室
- 4 出席委員
  - 1 番 永徳 省二君
  - 2 番 大森 進次君
  - 3 番 佐藤 武君
  - 4 番 佐々木雄司君
  - 5 番 光成 良充君
  - 6 番 保田 守君
  - 7 番 大口 浩志君
  - 8 番 治徳 義明君
  - 9 番 原田 素代君
  - 1 1 番 松田 勲君
  - 1 2 番 北川 勝義君
  - 1 3 番 福木 京子君
  - 1 4 番 佐藤 武文君
  - 1 5 番 岡崎 達義君
  - 1 6 番 下山 哲司君
  - 1 7 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者
  - 市 長 友實 武則君
  - 副 市 長 前田 正之君
  - 副 市 長 川島 明昌君
  - 教 育 長 土井原康文君
  - 総合政策部長 安田 良一君
  - 総 務 部 長 塩見 誠君
  - 財 務 部 長 藤原 義昭君
  - 市民生活部長 作本 直美君
  - 保健福祉部長 入矢五和夫君
  - 産業振興部長 是松 誠君
  - 建設事業部長 杉原 洋二君
  - 消 防 長 井元 官史君
  - 教 育 次 長 有馬 唯常君
- 7 事務局職員出席者
  - 議会事務局長 元宗 昭二君
  - 副 参 事 逢坂紀美子君
- 8 審査又は調査事件について
  - 1) 議第 9 号 令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）
  - 2) 議第16号 令和3年度赤磐市一般会計予算
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（大森進次君） ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

初めに、友實市長より挨拶をお願いいたします。

○市長（友實武則君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 友實市長。

○市長（友實武則君） 皆さん、おはようございます。

本日は、皆様大変お忙しい中、予算審査特別委員会をお開きいただき、また委員全員の出席をいただいております。誠にありがとうございます。

本日の審査いただく案件でございますけれども、今回、議第9号及び議第16号、それぞれ令和2年度と令和3年度の一般会計の補正及び当初予算について御審査をいただくこととなります。慎重なる御審査をいただき、適正なる御決定をいただければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、これから委員会の審査に入ります。

当委員会に付託された案件は、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）及び議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算であります。付託案件については、各分科会に分担し、付託事件審査または調査が行われ、各分科会委員長報告が提出されておりますので、委員長報告を求めます。

初めに、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）について委員長報告を求めます。

総務分科会委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） それでは、予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を行います。

総務分科会に分担されました議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）のうち、総務常任委員会所管部分について審査経過の主なものについて御報告いたします。

委員より、バスの使用料収入が減ったということだが、バスの利用者が少なかったためか、それとも当初予算の編成が甘かったのかとの質疑に、執行部は、新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、利用者が見込みより少なかったためであるとの答弁。

委員より、選挙費について減額になっているが、当初予算ではどの程度を見込んでいたのかとの質疑に、執行部は、前回の選挙を参考に予算計上をしている。職員手当等についても前回並みで予算計上しているとの答弁。

ほかに質疑はなく審査を終了しました。

以上で議第9号の総務分科会の報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 総務分科会委員長報告が終わりました。

これから総務分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、総務分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席にお戻りください。

続きまして、厚生文教分科会委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） それでは、予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を行います。

厚生文教分科会に分担されました議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の厚生文教常任委員会所管部分について、審査経過の主なものについて御報告いたします。

委員より、緊急通報設備保守点検委託料の減額について説明をとの質疑に、執行部は、今年度コールセンター方式に切り替えたため入札を行っており、その執行残等であるとの答弁。

委員より、医療機関事業継続支援金の減額について何件を見込んでいたのか、またコロナの関係で大変な状況だったと思うが、支援を受けられていない医療機関もあるのか、状況について説明をとの質疑に、執行部は、この支援金は令和2年2月から10月までのいずれか1か月間の収入総額が前年同月比で20%減少している医療機関が対象だった。医科診療所と歯科診療所併せて52件、病院1件を見込んでおり、申請があった医療機関33件に給付したとの答弁。

委員より、文化財保護費の減額について、国、県の補助金の減額によるものか、保存整備工事は100%できているのかとの質疑に、執行部は、国、県の補助金の交付決定に伴う事業費の減額である。工事は全体計画の中で順調に進んでいるとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして議第9号の厚生文教分科会の報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 厚生文教分科会委員長報告が終わりました。

これから厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席にお戻りください。

続きまして、産業建設分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） それでは、これより予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を行いたいと思います。

産業建設分科会に分担されました議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）のうち、産業建設常任委員会所管部分について、審査経過の主なものについて御報告いたします。

委員より、企業誘致奨励金2,800万円の減額について、当初の計画との関わりについて説明をとの質疑に、執行部は、減額の大きな要因は、予定していた企業の創業計画に遅れが出たため、当初予定していた7者が6者になったことにあるとの答弁。

委員より、当初の計画から1者減ったため、2,800万円減額になったという解釈でいいのかとの質疑に、執行部は、大きな要因はそうだが、当初の予算は企業の投資額を参考に計画している。どうしても固定資産税評価額と投資額に差が出ることがある。そのため、今回2,800万円の減額となったとの答弁。

委員より、当初予算計画時に誤りがあったのではないかと質疑に、執行部は、投資額から固定資産税評価額を算出することは難しいところもあるが、今後はもう少し精査していきたいとの答弁。

委員より、美作岡山道路負担金1,400万円の減額について説明をとの質疑に、執行部は、当初の予定では吉井インターから北へ向かっての調査、設計等の負担金として計上していたが、市の負担が発生しない測量のみの業務実施となったため減額しているとの答弁。

委員より、浄化槽整備事業補助金979万4,000円の減額について、37基の設置の予定が17基しか設置されなかったということだが、その理由について説明をとの質疑に、執行部は、過去3年間の実績を基に予算計上していた。浄化槽の普及が進まなかった理由としては、補助金の啓発不足もあると考えているとの答弁。

委員より、今後の浄化槽の推進についての見解はとの質疑に、執行部は、今後は広報への掲載、市のホームページへの通年掲載、区長会等での周知など、普及促進に向けて一層取り組んでいくとの答弁。

委員より、本当に推進するのであれば、重点地区を設定して説明していくとか、やり方はいろいろとあると思うが、今後の考えはとの質疑に、執行部は、浄化槽が必要なのは旧来地域である。区長と連携し、ローラー作戦など、地区の状況に応じた普及促進策に重点的に取り組ん

でいきたいとの答弁。

ほかに質疑はなく審査を終了いたしました。

以上で議第9号の産業建設分科会の報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 産業建設分科会委員長報告が終わりました。

これから、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 委員会で後段の浄化槽の議論を大変真剣にさせていただいたことを感謝します。ただ、予定よりも半分以下の実施になった理由のところ、啓発不足だという説明に対して、その手だての議論をしていただいているんですが、このことについては皆さんどんな議論をされたのかと思うんですが。例えば、一人暮らしの高齢者の自宅にとって、この合併浄化槽の整備事業というのが、もちろん情報がないという以前に、費用的な負担が大変大きい。例えば、合併浄化槽を入れ込むだけではなくて、当然水回りの工事が伴うわけで、その工事の負担金を考えると、大変この補助金が出るにしても、その後の、取付けの後の整備事業が大変かかるということなんですが、そういう議論はされてませんか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） そういう議論はしておりません。

○委員（原田素代君） はい、分かりました。委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） この37基という数字が、3年間の実績のものと計上だということなんですが、もしそのときに議論になっていたら、現状ではあと何基合併浄化槽の設置が必要だということを赤磐市はデータとしてお持ちなのかどうか、その議論はございましたか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） 補正予算減額に対しての説明なものですから、そういう今後の事業計画みたいなものへの説明には触れておりません。

以上です。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

これで議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）の質疑を終了いたします。

続きまして、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算について委員長報告を求めます。

総務分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） それでは、予算審査特別委員会総務分科会委員長報告を行います。

総務分科会に分担されました議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算のうち、総務常任委員会所管部分について審査経過の主なものについて御報告いたします。

委員より、シティプロモーション事業について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて予算編成を行ったのかとの質疑に、執行部は、シティプロモーション事業の予算を計上しているが、県外のイベントについては、非常事態宣言の発令状況を踏まえて参加するかどうかを検討していく。現在、あかいわももちゃんが参加しているイベントについては、ウェブで開催されている。感染が拡大している地域から人を呼ぶイベントについては、慎重な考え方が必要と思っている。それ以外のものは、開催の仕方や会場等を工夫したいと考えているとの答弁。

委員より、市民バス運行事業及び広域路線バス運行事業について、令和2年度の補正予算では、最終的には減額しているが、令和2年度と同じような予算編成をしているのかとの質疑に、執行部は、歳出については既に債務負担行為を行っており、令和3年度分に該当する予算を計上している。歳入予算については、令和元年度実績を基に、令和2年度の使用状況を踏まえて、利用料を路線によって約4割、1割減で予算を計上しているとの答弁。

委員より、公共交通会議も踏まえて予算を計上しているのかとの質疑に、執行部は、市民バスについては山陽地域でアンケート調査を行い、路線組替えの作業を行っているところである。その路線組替えに対する路線変更経費の予算を計上しているとの答弁。

委員より、移住・定住促進事業について、旧吉井町は非常に空き家が多くなっており、管理ができず困っている。この事業で空き家の管理ができるよう考えているのかとの質疑に、執行部は、予算については、空き家情報バンクに登録のある空き家の改修費用だけである。空き家が増えていることは認識しており、減らしていくよう研究を行っているが、具体的に予算化できていない状況であるとの答弁。

委員より、空き家改修補助金について、空き家内の大型家具等を片づけるための補助金ではなく、水回りの修理等にしか補助金は使えないという理解でよいのかとの質疑に、執行部は、この補助金については、建物の基本的な部分の改修にしか使えないとの答弁。

委員より、移住・定住促進事業と結婚支援事業について、1組で全ての補助を受けることは

できるのかとの質疑に、執行部は、結婚支援事業の新婚世帯家賃補助金と結婚新生活支援事業については、2つ同時に受けることはできない。組合せによっては、同時に受けられるとの答弁。

委員より、総合計画・総合戦略推進事業について、アンケート調査の委託料を計上しているが、アンケート調査は過去にも行っていると思う。5年、10年前のアンケートと令和3年度のアンケートの比較はできるのかとの質疑に、執行部は、アンケートは毎年行っている。基本的な項目は同じであるため比較を行っているとの答弁。

委員より、個人番号カード交付事業費補助金について、現在の交付率は何%かとの質疑に、執行部は、令和2年12月31日現在で20.44%であるとの答弁。

委員より、現在は、交付率が20.44%ということだが、令和3年度はどのくらい増やす予定なのかとの質疑に、執行部は、目標の数値は設定できていない。普及啓発により多くの人に持ってほしいとの答弁。

委員より、職員の個人番号カードの取得について積極的に進めているのかとの質疑に、執行部は、職員にも取得するよう積極的に呼びかけを行っているとの答弁。

委員より、消費生活推進事業について、新型コロナウイルス感染症に関連した新たな詐欺も発生しており、消費生活相談員の負担が増えているが、どう考えているかとの質疑に、執行部は、対面での相談件数は昨年度に比べて減っているのが実情である。新たな詐欺についても、国民生活センターや岡山県消費生活センター等から注意喚起の通知が来ているが、市の消費生活センターでの相談件数は少ない。現在は、常駐の消費生活相談員2名で対応できているとの答弁。

委員より、災害対策費について、防災マップの作成を予定しているが、いつ頃市民に配布するのかとの質疑に、執行部は、なるべく早く取りまとめを行い、配布したいと思っているとの答弁。

委員より、防災マップへは、市役所周辺が2.2メートル、立川地区が6.6メートルの浸水だということを明記するのかとの質疑に、執行部は、水防法の規定により、洪水浸水想定区域は必ず明記することになっているが、市役所が何メートル、特定の地区が何メートルという明記にはならない。図面上での色分けによって判断をしてもらうことになるとの答弁。

委員より、選挙費について、前回の知事選では桜が丘東地区の投票率が29%で、市内全域でも最低だったと思う。投票率を上げる施策は予算に入っているのかとの質疑に、執行部は、投票を呼びかけるパンフレットを選挙啓発費で計上しているとの答弁。

委員より、庁舎等整備事業について、3月に市長選挙があるが、市長が代わり、本庁舎等の耐震改修を見直す場合、この予算は無駄になるのかとの質疑に、執行部は、令和2年度の補正予算で計上した予算と併せて、債務負担行為で令和3年度の事業費についても計上している。事業を止めるとなると、契約して前払いしている事業に対して、現在までかかった費用ないし

は契約解除に伴う違約的なものが発生してくると思っているとの答弁。

委員より、庁舎等整備事業の関連で、6月に1億2,000万円、今回2億2,000万円の予算を計上している。庁舎等の耐震改修費は20億円ということだが、今回の予算はその20億円には含まれていないと理解しているがとの質疑に、執行部は、庁舎等整備事業の20億円については工事費である。令和2年度と令和3年度で計上している予算については、20億円には含まれていないものがある。旧消防本部庁舎の改修工事費は20億円の中に入っているが、実施設計業務で契約してる1億1,000万円などは含まれていない。事業費については、極力縮小していく方向で取り組むとの答弁。

委員より、歳入の市税について、新型コロナウイルス感染症の影響により減収となっているが、減収に伴い国からの手当ではないのかとの質疑に、執行部は、手当という形で積極的に市に交付される制度はないとの答弁。

委員より、減収を見込んで積極的に財源を確保してもらいたいと思うがどう考えているのかとの質疑に、執行部は、事業の特性をよくつかんで、交付金や補助金の制度を積極的に活用する姿勢で臨みたいと思うとの答弁。

委員より、税金の滞納について、コロナ禍ではあるが、どういう力の入れ方をしているのかとの質疑に、執行部は、1人1人の状況を確認し、公平に進めていきたいと考えているとの答弁。

委員より、常備消防費について、高機能消防指令センターのシステムを更新するということだが、近隣での事例はとの質疑に、執行部は、玉野市消防本部、美作地区消防指令センターであるとの答弁。

委員より、システム更新により何が変わるのかとの質疑に、執行部は、操作性や処理時間が向上するため、受付から現場到着までの時間がより短縮されることが期待される。また、聴覚や言語機能に障害を持っている人の緊急通報をスムーズに行うため、スマートフォンを用いて音声言語に頼ることなく通報ができる、ネット119緊急通報システムが利用できるようになるとの答弁。

委員より、非常備消防費について、火事等があつて出動した場合の経費は幾らかとの質疑に、執行部は、1回の出動に対して1,200円の出動手当を支給しているとの答弁。

委員より、団員報酬について、閣議決定では団員報酬が上がることになっていると思う。予算は前年度に比べて減額になっているが、補正予算で対応するのかとの質疑に、執行部は、国からの通達等を参考にして、消防団とも協議しながら適切な対応を行うとの答弁。

ほかに質疑はなく審査を終了しました。

以上で議第16号の総務分科会の報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 総務分科会委員長報告が終わりました。

これから、総務分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 2ページになりますが、防災マップの部分でございます。中段で、防災マップについて、執行部のほうの御答弁が、水防法の規定により、洪水浸水想定区域は必ず明記することになっている。しかし、市役所が何メートル、特定の地区が何メートルという明記にはならない。図面上での色分けによって判断をしてもらうことになる。というやり取りがあったという御報告なんです。たしか本会議場で、総務部長が、令和元年10月26日付で、県のほうが、今回の令和元年の新しい知見を市民に周知徹底するよという指示文書が出ておりましたと報告がありましたが、そのことに絡むと、ここで書いてあるように、明記しない、色で分かってもらえばいいんだという御答弁について、何か疑義、質疑はございませんでしたか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 答弁求めます。

佐藤委員長。

○委員（佐藤 武君） 特にその件についての質疑はありませんでした。

○委員（原田素代君） はい、分かりました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、総務分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

続きまして、厚生文教分科会委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 光成委員長。

○委員（光成良充君） それでは、予算審査特別委員会厚生文教分科会委員長報告を行います。

厚生文教分科会に分担されました、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の厚生文教常任委員会所管部分について、審査経過の主なものについて御報告いたします。

委員より、緊急通報設備保守点検委託料について、どれくらいの人数を予定しているのか、また設置するのに1万円以上かかるため、設置したいのに諦める人もいるが検討はしたのかとの質疑に、執行部は、長期継続契約で、200件を目安に委託契約をしており、現状は全体で180件ぐらいになっている。設置費用は検討課題だが、来年度予算については現状維持となっ

ているとの答弁。

委員より、社会福祉協議会補助金について、委託の関係で減額になっているのかとの質疑に、執行部は、令和3年度から、社協に地域包括支援センターの委託をする関係で、社協から受け入れている職員の人件費3人分相当を委託料に付け替えているとの答弁。

委員より、敬老会助成金について、75歳以上、1人当たり2,000円出るが、町内会に入っていないという理由で渡されていないという実態をつかんでいるか。1人当たり2,000円を渡したいという事業なら、そうならない現状をどう解決するかという問題意識があるのかとの質疑に、執行部は、あくまで町内会に対して渡す積算根拠としての1人当たり2,000円である。町内会によっては、敬老会を開催するところもあるし、商品券等を渡すところもある。様々なやり方があるが、個人に渡すことを前提とした助成金ではない、制度の趣旨がうまく伝わっていないところもあると思うので、区、町内会と調整していくとの答弁。

委員より、配食サービス事業委託料について、ボランティアが高齢者に配食サービスをしている地域があるが、そういうところに入っていないのか、また何を基準に事業所が選ばれているのかとの質疑に、執行部は、年間を通じて安定的に供給、配送してもらう必要があるので、現在契約しているのはスーパー、弁当を専門で販売している事業所であるとの答弁。

委員より、福祉タクシー券事業についてどれくらいの割合が利用しているのかとの質疑に、執行部は、利用状況については前年度は6割から7割だった。今年度の実績は、コロナ等の影響で外出が減っているためか5割を切っているとの答弁。

委員より、循環バスがなくなって非常に厳しい状況がある。もう少し枚数を増やすなり、非課税でなくてもタクシー券を出すなり、柔軟に検討した上で予算編成したのかとの質疑に、執行部は、近隣市町村の状況を聞いたが、サービスを増やしているところは基金を利用しているケースが多く、どこの市町村も一般財源頼みで運営に苦慮している状況である。現状維持ということで当面展開したいと考えているとの答弁。

委員より、放課後児童クラブ補助金1億7,399万4,000円について、19クラブというのは新設何クラブ、既存何クラブになるのかとの質疑に、執行部は、19クラブの内訳については、令和2年度の段階で、既存の補助対象クラブは17クラブである。来年度2クラブ増ということで予算計上しているとの答弁。

委員より、約2,000万円増額になっているが、1クラブ1,000万円ずつで2,000万円増えたのかとの質疑に、執行部は、1クラブ500万円程度で予算計上している。また、コロナ感染症の対策に全体で1,000万円増額しているとの答弁。

委員より、火葬補助金について予算化されて2年目になるが、状況の説明をとの質疑に、執行部は、今年度600万円計上しており、ほぼ執行している。令和3年度予算は、今年度の実績、死亡者に対する申請者の割合を加味して、概算で計上しているとの答弁。

委員より、子ども医療費について382万2,000円減額になっているが、どういう状況なのかと

の質疑に、執行部は、令和元年度実績を基に計上している。対象者が少し減っており、減額になったとの答弁。

委員より、教育総務費の報酬について、ここで言う学習支援員は各小中学校のクラスのサポート、もしくは放課後学習サポートのどちらなのかとの質疑に、執行部は、放課後学習サポートの学習支援員である。授業の中に入る支援員、特別な支援が必要な子への支援員は、小学校費、中学校費で計上しているとの答弁。

委員より、全額県費なのかとの質疑に、執行部は、全額県費であるとの答弁。

委員より、学習支援が求められる貧困家庭についての学習支援員の配置はないのかとの質疑に、執行部は、特に貧困家庭というくくりではない。学習が遅れている子、基礎学力がっていない子を対象としているとの答弁。

委員より、高等学校等通学費補助金について、423万円のうち一般財源は33万円である。一般財源を増やして充実させるべきだと思うがどう検討したのかとの質疑に、執行部は、平成30年度から開始し、今年度3年目を迎えている。今のところ経済負担の大きいところを対象としている。今後については、保護者等の意見を聞きながら制度について検討したいと思っている。財源については吉井地域の人が多数いるので、過疎債等を活用して運営している。一般財源を伴うということは市の財政状況等を勘案しないといけないので、十分検討していかないといけないと思っているとの答弁。

委員より、中学校費の会計年度任用職員報酬について、部活動指導員について説明をとの質疑に、執行部は、地域の人に部活の指導をしてもらっている。予算は学校からの要望を聞いて13名分あげている。今年度は要望に見合った人を5名見つけることができているが、人材を探し求めているところであるとの答弁。

委員より、部活動指導員に何か基準があるのかとの質疑に、執行部は、教員免許の有無は関係なく、基準は特にないと答弁。

委員より、どういう部活動を想定しているのかとの質疑に、執行部は、吹奏楽部、剣道部、野球部、バスケットボール部に実際に入ってもらっている。ほかにもバレー部やテニス部の要望があるが、指導員が見つからないとの答弁。

委員より、あくまで指導者という位置づけだと思うが、部活動がないゆえに中学生の生徒が減っている学校がある。そういうところに対して特段の配置をするという発想はないのかとの質疑に、執行部は、既に部活があつて、指導者がいないところに対して配置している。部員がないから指導者を連れてきて新たに部をつくるものではないとの答弁。

委員より、キャンプ誘致実行委員会補助金1,576万円について説明をとの質疑に、執行部は、赤磐市東京2020ホッケー競技国内キャンプ誘致実行委員会に対する補助金であり、対象経費は啓発活動費、事前キャンプの活動費、オリンピック応援の活動費、交流活動費の経費を予定しているとの答弁。

委員より、活動費とくくられているので中身が見えてこないが、何に一番費用がかかるのかとの質疑に、執行部は、事前キャンプ活動費のニュージーランド代表女子ホッケーチームの事前キャンプに係る渡航費、国内の移動費、宿泊費であるとの答弁。

委員より、学校給食費の職員人件費について、中央学校給食センターが一部民間委託しているが、前年度との差をどれくらい見込んでいるのかとの質疑に、執行部は、委託料と人件費をあわせた額の差について、令和2年度の委託期間が8か月、令和3年度が12か月になっており、退職あるいは定年退職後に再任用された職員等もいるため単純に比較するのは難しいとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了しました。

以上をもちまして議第16号厚生文教分科会の報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 厚生文教分科会委員長報告が終わりました。

これから、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、厚生文教分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

続きまして、産業建設分科会の委員長報告を行います。

正副委員長は移動してください。

それでは、委員長報告を求めます。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） それでは、予算審査特別委員会産業建設分科会委員長報告を行いたいと思います。

産業建設分科会に分担されました議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算のうち産業建設常任委員会所管部分について、審査経過の主なものについて御報告いたします。

委員より、鳥獣被害防止対策について、委員会でカラスの被害が深刻だというアンケート調査結果を受け、次年度にカラス対策をしっかりとするという説明があった。カラス対策は予算に反映させているのかとの質疑に、執行部は、カラス対策事業に取り組むよう、鳥獣被害防止対策協議会補助金に予算計上しているとの答弁。

委員より、松くい虫特別防除事業委託料について、防除は地元の要望に基づいてしているのか、方針について説明をとる質疑に、執行部は、松くい虫の防除は吉井地域と熊山地域で実施している。地元の要望もあるが、市としては災害対策としての森林の保護を考え継続する方針である。県の基準を遵守して、慎重に実施しているとの答弁。

委員より、このまま継続する考えなのかとの質疑に、執行部は、昭和40年代から継続して実

施しており、効果が十分発揮されていると認識している。この防除方法に代わる有効な方法が見つかるまでは継続実施することを考えているとの答弁。

委員より、中山間地域等直接支払交付金の説明をとの質疑に、執行部は、交付金は傾斜地の緩急によって支払う。協定面積541ヘクタール、協定数は45地区の予定で予算計上しているとの答弁。

委員より、産地パワーアップ事業助成金の説明をとの質疑に、執行部は、新たに令和3年度から取り組む国庫事業である。内容は、収益性向上対策として、農業機械や生産資材の導入をする農業者、農業者の組織する団体に対する補助であるとの答弁。

委員より、既に要望があるのか、それとも見込みなのかとの質疑に、執行部は、生産部会等から要望があるとの答弁。

委員より、次世代農業振興事業補助金について1,000円の予算計上だが、骨格予算だからこのような計上になっているのかとの質疑に、執行部は、今後要望によって推進していく事業であるとの答弁。

委員より、観光費の地域おこし協力隊員4名についての説明をとの質疑に、執行部は、現在は広域観光、熊山英国庭園、観光協会関連で隊員3名である。広域観光関連の隊員1名が、令和3年11月に任期満了で退任し、追加募集することから、4名の予算計上しているとの答弁。

委員より、観光費の設計・施工監理委託料について、城山公園の委託料ということだが、内容説明をとの質疑に、執行部は、かやぶき屋根を含めた全体的な老朽化対策であるとの答弁。

委員より、美作岡山道路負担金について説明をとの質疑に、執行部は、県に次年度の負担金を確認しており、調査、設計等の負担金として1,516万2,000円の予算確保の依頼があったため計上しているとの答弁。

委員より、調査、設計の場所について説明をとの質疑に、執行部は、吉井インターチェンジから英田インターチェンジの間の測量、設計、調査であるとの答弁。

委員より、美咲町は全く進まないという話を聞いていたが、県から負担依頼があったということは、進捗しているという解釈でいいのかとの質疑に、執行部は、測量等が入っており、調査、設計についても進捗していると聞いているとの答弁。

委員より、耐震事業補助金について何件予定しているのかとの質疑に、執行部は、建築物耐震診断で5件、改修工事として1件を見込んでいるとの答弁。

委員より、空家等除却事業補助金150万円について、市内で空き家が増えているが、根拠について説明をとの質疑に、執行部は、令和2年度の実績は1件だったが、次年度は3件を見込んでおり、除却費の3分の1、上限50万円で計上しているとの答弁。

ほかに質疑はなく、審査を終了いたしました。

以上で議第16号の産業建設分科会の報告を終わります。

○委員長（大森進次君） 産業建設分科会委員長報告が終わりました。

これから、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 7ページの最初の上段の松くい防除のところ、市の説明が、県の基準を遵守して、慎重に実施しているというお答えがあったということなんですが、ちょっと相前後しますけれども、県のほうが、最近この4月に施行される岡山県環境基本計画の実施計画書の中に、従前の松くいに対しては空中散布の事業が入らなくなって、要するに地上防除になったという文書になりましたということを知っているんですが、もしも県のほうが空散をやめる事業になった場合、当然市は県の基準を遵守して慎重に実施されるのであれば、赤磐市の空散も実質的にやめることになるというふうに思ったんですけど、そういう議論はございましたか。

○委員長（大森進次君） 答弁を求めます。

○委員（佐々木雄司君） そういう議論はありませんけれども、執行部のほうは、この防除事業に代わる有効な方法が見つかるまで継続実施するというところをお考えを示されております。

以上です。

○委員（原田素代君） ありがとうございます。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私もこの問題なんですけど、それぞれ地元の要望もあるが、市としてはというふうには書いてるんですけど、地元の辺りで若い方が県外から来られて、子供のためにそういうことはやめてほしいという声も知ってるんですけど。そんなんとか、それから市としてもそういう声も聞かれてると思うし、それからぜひそういうことはやめて、岡山県下はほとんど、赤磐ともう1か所ぐらいで、もう大体そういう空中散布はやめてきているという状況もあるということで、ある団体から要望も出されて、市も知ってるんですけど、そういうような議論はなかったですか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） ありませんでした。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 国庫事業ということで、新たに令和3年度から、産地パワーアップ事業助成金、個別農業者、それから農業者の団体ということで補助をされるということなんです

が、この周知方法ですね、これ具体的にどういう形で個人の方、それから組織に対して周知をするのか、そういう周知方法は何かありましたか。

○委員（佐々木雄司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 佐々木委員長。

○委員（佐々木雄司君） 特にありませんでした。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） なければ、産業建設分科会委員長報告に対する質疑を終わります。

正副委員長は自席へお戻りください。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 今回の一般会計予算のところで修正動議を出させていただきたいのですが、お願いいたします。

○委員長（大森進次君） 修正動議は1人の委員で提出されて成立します。

それでは、資料準備のため、暫時休憩といたします。

午前10時48分 休憩

午前10時54分 再開

○委員長（大森進次君） 再開します。

それでは、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算に対しては、原田委員から修正動議が提出されました。

この際、提出者の説明を求めます。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） お手元に配付していただいた修正動議は、予算書でいきますと71ページの財産管理費の部分ですね。71ページの上段のところの設計・施工監理委託料が1億1,522万7,000円、それから中段より下の15、工事請負費、これが1億594万7,000円、この両方を合わせた金額が2億2,117万4,000円、この総額を修正動議として削除を求めるものです。

まず、修正動議の文書を読み上げます。

議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算に対する修正動議。

上記の議案に対する修正案を、別紙のとおり、赤磐市議会会議規則第101条の規定により提出します。令和3年2月26日、赤磐市予算審査特別委員会委員長大森進次様。提出者、赤磐市予算審査特別委員会委員原田素代でございます。

ページを開けていただいて、この2枚がついておりますが、この分は今回の2つの、先ほど申し上げました設計・施工監理委託料と工事請負費のそれぞれの金額の入と出の説明の部分で

ございますので、基金の繰入金、それから合併特例債の分、それから一般会計歳出の分、それぞれが当初の議案から変わって数字がこのようになりますということを説明させていただきます。

もう一方の資料でございますが、これは参考として、令和3年度赤磐市一般会計予算修正に関する説明書ということでございますが、分かりやすいよう2枚目を剥いていただいて、歳出のところを見てください。

歳出のところ、先ほど申した設計・施工監理委託料の金額と、もう1つ施設維持管理工事費、この2つがそれぞれこのように変更になったことによって削除に至りました。それから、その次の合併特例債の金額のところも見てください。これも合併特例債が含まれる予算になっておりますので、合併特例債をこのように削除をさせていただくと。結果として、2億2,117万4,000円の庁舎等整備事業の削除を求める修正動議を提出するということになっております。

以上でございます。

○委員長（大森進次君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

質疑ありませんか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 修正する意味を言うてもらわにゃあ、何のために修正するんか分かりません。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そもそも庁舎等整備事業の金額についてですが、先ほどの各委員会での議論の中にもありましたし、本会議での一般質問でもありました。この間、一連の議会の中で、令和元年度の被害浸水想定の新しい知見が県から出たことについて、執行部が現在令和3年のこの3月議会まで一切公表してこなかったこと、その中で今回のこの2億2,000万円の予算が計上されていること、本来であれば執行部は正確な情報を基に議案を提出する責務がある、にもかかわらず令和元年10月に分かっていたことをずっとひた隠しにし、見方によればうそを言ったようなやり取りもありました。2.2メートルが分かっても30センチだとか、全く対策は必要ないとか、市長が公言されてるわけです。そういう議案の提出に対して、私たち議会としては、新たな知見が出た以上、その知見に沿って改めてこの議案について議論するのが本来の形だと思っています。そういう意味で、今回、ましてや骨格予算として選挙前でございますし、改めてこの予算案を下げさせていただいて、改めてこれを議論していただく必要があると、そういう思いで今回の修正動議に至りました。

○委員長（大森進次君） ほかに質疑はありませんか。

○委員（福木京子君） いいですか。

○委員長（大森進次君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私はこの庁舎のほうでは、昨年のあれでは賛成討論して、しかしやはり議員全員にもなかなかまだ説明不足、市民にも説明不足と、だから十分な説明をすべきだというふうなことも私は言ってきております。今回、県の新たな知見が出たというのが、やはり出たからにはそういうものは素早く説明し、そういう市民に納得できるようにすべきだと思うんですけども。この修正動議に対するこれ質疑ですね。合併特例債、今回一応一旦中止ということですから、合併特例債が市の説明では令和7年3月まで完了というふうなことを説明してたんで、その点については修正動議を出された原田委員はどういうふうにご考えられていますか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 原田委員。

○委員（原田素代君） \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ (254字削除)

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 私、総務委員長しょうた、総務委員長を自分でやめまして、じゃけど総務委員の中のメンバーなんですけど。 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ (224字削除)

○委員（原田素代君） \_\_\_\_\_ (23字削除)

○委員（北川勝義君） \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ (130字削除)

- 委員（岡崎達義君） 修正動議に対する質疑でしょ。
- 委員（北川勝義君） じゃから、それを確認してください。
- 委員（岡崎達義君） それは関係ないじゃん。
- 委員（北川勝義君） じゃから、  
（40字削除）確認しとんです。
- 委員（原田素代君） 事務局に聞いてください。
- 委員長（大森進次君） 事務局、お願いします。
- 委員（岡崎達義君） いや、そういう話にはならんでしょう。修正動議に対する質疑なんです。
- 委員（北川勝義君） あんたの言ようことは分かるんじゃ。じゃけえ、  
（18字削除）確認をせにゃあおえんがな。
- 委員長（大森進次君） 佐藤委員。
- 委員（佐藤 武君） 今、北川委員からも総務委員としての意見がありました。私も総務委員長として、  
（59字削除）委員長のほうで確認を取るよう  
に段取りをしてください。
- 委員長（大森進次君） それでは、調べたいので、暫時休憩といたします。
- 午前11時5分 休憩
- 午前11時14分 再開
- 委員長（大森進次君） 再開します。
- 委員（原田素代君） 委員長。
- 委員長（大森進次君） 原田委員。
- 委員（原田素代君） すいません、私の先ほどの提案の中で、言葉が走りました。委員長報告の中身のところの分は、私のほうの失言でございます。大変皆様には、特に委員会の皆様には御不快な思いをさせたことを心から謝罪させていただきたいと思います。
- 委員長（大森進次君） ほかに質疑はございませんか。
- 委員（原田素代君） 委員長、ごめんなさい、もう1回。
- 委員長（大森進次君） 原田委員。
- 委員（原田素代君） 削除のほうもお願いできればと思います。先ほどの委員長報告に触れた部分だけ削除をお願いしたいと思います。
- 委員長（大森進次君） そしたら削除します。
- 委員（原田素代君） はい、お願いします。
- 委員（佐藤 武君） 委員長。
- 委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） これは予算審査委員会です。

---

---

---

---

——（146字削除）削除すれば済むんですか。

○委員長（大森進次君） 先ほど、原田委員のほうから言われて、削除しますと私のほうも言いましたので、削除して、先へ進めたいと思います。

○委員（佐藤 武君） だから、1つだけ言わせてください。

○委員長（大森進次君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 明確な根拠のないものを、正式な委員会で発言すべきではないということを改めて強く申し入れますので、委員長のほうでよろしくお願いします。

○委員長（大森進次君） はい、分かりました。

ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） 質疑なしと認めます。

すいません、先ほど原田委員が言われた削除の件について、委員会なので皆さんにお諮りしたいと思うんですけど、削除でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） ありがとうございます。

それでは、ただいまから本委員会に付託されました議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）及び議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算について採決を行います。

まず、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）についての採決をしたいと思います。

議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）について、この原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立全員です。したがって、議第9号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算について採決したいと思います。

まずは、議第16号に対する原田委員から提出された修正案について採決いたします。

本修正に賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立多数です。したがって、修正案は可決すべきものと決しました。

続きまして、ただいま修正決議した部分を除く原案について採決いたします。

修正決議した部分を除く部分を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（大森進次君） 起立多数です。したがって、修正決議した部分を除く部分は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託された案件審査はこれで全て終了いたしました。

なお、委員長報告につきましては、委員長に一任していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大森進次君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上をもちまして予算審査特別委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、前田副市長より挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（大森進次君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 本日は大変お忙しい中、予算審査特別委員会をお開きいただきまして、議第9号令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第9号）、議第16号令和3年度赤磐市一般会計予算の慎重なる御審査をいただきありがとうございました。

本定例会につきましても、最終日ということになりますが、開会、慎重なる審査のほう、併せてお願い申し上げまして、本日のお礼といたします。ありがとうございました。

○委員長（大森進次君） ありがとうございました。

これで予算審査特別委員会を閉会いたします。

皆さん、大変お疲れさまでございました。

午前11時21分 閉会